

かつて天体写真といえば、フィルムを入れた一眼レフで撮影していました。私はニコン F2 という、非常に堅牢で使いやすい機種を愛用していました。その後、各社からデジタル一眼レフが発売され、価格も下がり、天体写真もデジタル一眼の時代が続きました。

ここ数年は、コンデジ（コンパクトデジタルカメラ）の性能が著しく向上し、デジタル一眼並みの天体写真の撮影が可能になってきました。私も重いデジタル一眼を持ち歩くことは少なくなり、コンデジで済ませていた感じです。

ところが、ここにきてまた状況が一変しました。スマホカメラの性能が飛躍的に向上してきたのです。私は、友人の持っていたスマホがすばらしい天体写真を撮れるのを見せてもらい、普段メールや LINE で使っているスマホとは別に、天体写真用に一台購入しました。中古で、しかも SIM カードも不要なので、安く済みました。今夜、その性能を試したのですが、これが驚きの結果でした。

被写体は北斗七星と北極星ですが、スマホをただ三脚に設置して、露出をセットし、シャッターボタンを軽く押しただけで、恒星がシャープな点像に写りました。月夜だったにもかかわらず、6等星まで写っています。この性能ならオーロラも楽勝でしょう。いよいよコンデジも不要の時代になってきました。

(2023年7月下旬／北軽井沢浅間園下)

